

# し ぶ し 志布志



## 市議会だより

No.17 2010.6.11 発行



大慈寺  
香月小学校スケッチ大会

5月  
臨時会

終息願う…口蹄疫 ..... 2

3月  
定例会

光ファイバー全戸設置へ ..... 5

平成 22 年度の事業 ..... 6

ICT 事業 どうなる市民の負担 ..... 8

子育て支援第 1 子から支給 ..... 9

やっちくふるさと村 指定管理者決まる ..... 10

13 議員がいっぱい質問 ..... 11

# 畜産農家支援策を可決

## ■ 5月臨時会 ■

平成22年5月臨時会を5月20日に開き、口蹄疫対策費用を含む一般会計の補正予算など議案2件や、税条例の一部改正、平成21年度最終補正予算など専決処分の承認7件を審査しました。

これら議案は全て原案どおり可決しました。

また、口蹄疫の感染拡大防止と地域への支援を求める意見書を国に提出しました。

## 口蹄疫対策関連事業を実施

### ◎畜産農家へ

#### 管理費を支援

#### 口蹄疫子牛緊急支援事業

子牛セリ市の延期に伴う飼養管理費の増加に対し、その一部を支援し、農家の経営維持を図ります。

対象牛：4月～5月セリ市  
出場予定牛（自家  
保留牛除く）  
内容：子牛一頭当り月額  
1万円を補助。

### ◎資金借り入れ農家の

#### 金利負担をゼロに

#### 口蹄疫経営維持緊急資金利 子補給事業

県が新設する口蹄疫経営維持緊急資金を借り入れた畜産農家に対し、利子補給金を交付します。基準金利2・95%のうち県が0・63%、融資機関が0・62%補給し、残り1・7%分を市が補います。農家の金利負担を実質0とし、畜産経営の継続を支援します。

### ◎自主消毒を実施

#### 24時間体制で防疫へ

#### 口蹄疫緊急防疫対策事業

本市では、4月30日から県道65号南之郷志布志線の高岡口付近で、5月6日から志布志港第2突堤で自主防疫ポイントを設け、24時間体制で防疫にあたっています。

今回の補正予算には、臨時雇用作業員賃金など自主消毒対策の必要経費も計上されました。  
また、5月27日からは市議会議員も2名ずつ交代で作業にあたっています。

## 臨時会での質疑応答

**Q** 5月セリ市までの予定で予算計上しているが、延長した場合はどうするか。

**A** 6月セリ市についても中止の可能性が高いと思われる。6月議会で提案したい。

**Q** 緊急資金の窓口となる金融機関への対応は。

**A** J A関係以外についても対応できないか市中の金融機関とも協議した。今後も金融機関と協議を重ねていきたい。

**Q** セリ市延期に伴い、家が畜が係留されるため、畜舎の増設が必要になるが、その分の融資はどのような形になるか。

**A** 直接的にまだ話がないところである。今後、できる内容で支援していきたい。

**Q** 国から感染経路や発生源、また予防対策等についての情報提供はないのか。

**A** 新聞報道や農林水産省のホームページ等から発生についての情報は入っている。感染経路については国の検討委員会等で検討が重ねられているが、特定に至っていない。

全ての情報が届いているというところではないため、国、県に対しても申し入れている。

**Q** 消毒作業には、関係機関が交代であたっているが、市職員はどれくらいかかっているか。

**A** 高岡口付近が今までで延べ総数329人である。うち市職員151人、ほか、農協、共済組合、県略、大崎町で対応した。  
志布志港が延べ303人、うち市職員95人、港湾振興協議会146人、緊急雇用対応分62人である。

# 終息を願って.. 口蹄疫 自主消毒



志布志港での消毒作業

## 口蹄疫発生に伴う支援策の 実施を求める意見書（要 旨）

宮崎県で発生した口蹄疫は、急速に感染が拡大する中、いまだに終息の兆しは見え、全国的な問題となっている。

このままでは畜産を含む農業が基幹産業である本市においては、農業のみならず地域経済に甚大な影響が懸念される。

本市は、家畜伝染病法による移動制限・搬出制限区域外であるにもかかわらず、現在、行政をはじめ各関係機関・団体一丸となつて感染拡大を防止するための懸命な取り組みを進めている。

一方、畜産農家においては、せり市の延期に伴い、出荷もできず飼料管理費が日増しに増加するなどの多大な影響が既に出ており、一日も早い終息に向けた取り組みが喫緊の課題であり、早急に畜産農家に対する支援策と感染拡大防止策を講じる必要がある。

よって、国におかれては、このような状況を踏まえ、下記事項について特段の配慮をされるよう強く要望する。

### 記

- 1 口蹄疫の影響により出荷ができない畜産農家の飼料代等の経費や出荷遅延による損失を全額補てんすること。
  - 2 出荷停止等により収入が途絶える農家に対して一時金の給付など支援策を講じるとともに、経営継続に支障が生じることのないよう無利子の運転資金の融資などの金融対策を速やかに講じること。
  - 3 風評被害防止に向けた対策を講じること。
  - 4 地方自治体や関係機関が独自の対策を講じる場合は、地域に裁量権を与えた上で、特別交付税を含む十分な財政措置を講じること。
  - 5 感染経路の解明、発生及び感染の防止対策に全力を尽くすとともに、万全かつ抜本的な予防策を講じること。
- 以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、農林水産大臣

**Q** 臨時雇用作業員の選考方法はどうかっているのか。

**A** 県の緊急雇用創出事業臨時特例基金事業を活用している。ハローワークに募集要項を提示し、応募した人を面接し採用している。8名を雇用済みであるが、新たに9名を募集している。ハローワークを通じて申し込んで頂きたい。

**Q** 県や市内で発生した場合の対策等は考えているのか。

**A** 市内で発生した場合の対策については協議はしている。現在の段階では防疫体制を強化し、県内市内に入っていないことを第一の取り組みとしている。

**Q** 市内で発生した場合、すぐ手を打てるような体制は取れるのか。

**A** 現在、陽性の家畜はいないが、情報が寄せられた時には直ちに関係機関による対策会議を開催し、即座に対策本部に切り替える。

**Q** ワクチンを使用した場合、本市にどのような影響があるのか。

**A** ワクチン清浄国となるのと、輸入国が輸入を規制する。ナンチク、サンキョーミートが輸出をしているため、規制されると生産農家への影響を危惧している。

# 000万円

## 前年度比 9.7%減

### 3月定例会

平成22年3月定例会を3月3日から30日までの28日間開き、一般会計・特別会計の当初予算、平成21年度補正予算など議案32件を審査しました。

当初予算は前年度比で17億5100万円、9.7%の減となりました。これは、市長市議選後の骨格予算であること、畑かん事業負担金の減額等によるものです。

国の地域情報通信基盤整備推進交付金事業などを活用し、光ファイバーケーブルを市内全戸に整備する事業費約46億3千万円を21年度補正予算に盛り込み、22年度中に実施することとしました。

これらの議案及び発議4件は原案どおり可決し、固定資産評価審査委員会委員の選任1件に同意しました。

また、交通事故防止に関する決議、改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書、核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書を国に提出しました。

一般質問は13名の議員が所信表明や環境政策、保健福祉、行財政改革、農業振興、教育問題などについていただきました。

### 条例

やちちくふるさと村の

管理者を指定

(全会一致)

松山町の道の駅やちちくふるさと村の指定管理者を指定しました。

【指定管理者】

有限会社 渡辺商店

【期間】

平成22年4月1日～

平成25年3月31日



春の交通安全運動

### 決議

交通事故防止に関する決議

(要旨)

県内の交通事故死者の増加数は全国でも上位に位置しており、本市においても発生件数及び負傷者数とも増加するなど極めて憂慮すべき状況である。交通事故の抑止は緊急の課題であるため、市民の安全で安心な暮らしを守る立場から、警察や関係機関・団体と連携し、市民と一体となつて交通事故抑止に対する姿勢を明確に示し、交通事故防止策を積極的に推進することを決意するものである。

### 意見書

350万人のウイルス性肝炎患者の救済について

(要旨)

すべての肝炎患者を救済することを国の責務と定めた患者救済の根拠となる肝炎対策基本法が、平成21年11月に制定されたが、国の肝炎対策基本指針の策定、必要な個別法の制定、予算措置がなければ患者の救済は進まないことから、速やかに必要な措置を行うよう強く要請する。

改正貸金業法の早期完全施行等を求めるもの

(要旨)

改正貸金業法完全施行の先延ばし、金利規制の貸金業者に対する規制の緩和は、再び自殺者や自己破産者、多重債務者の急増を招きかねない。そのため多重債務者に必要とされる、改正貸金業法の早期完全施行、相談体制の拡充、セーフティネット貸付の充実及びヤミ金融の撲滅を強く要請する。

核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書の提出について

(要旨)

核兵器の廃絶と恒久平和実現への取り組みのために、平和市長会議が提案する「ヒロシマ・ナガサキ議定書」の趣旨に賛同し、核拡散防止条約(NPT)再検討会議において、同議定書を議題として提案するとともに、その採択に向け、核保有国を始めとする各国政府に働きかけることを強く要請する。

いずれも内閣総理大臣をはじめ関係機関に意見書を提出しました。

# 22年度 一般会計当初予算

# 162億1

## 光ファイバー 全戸設置へ



行政告知放送端末 (見本品)

### 情報通信基盤を整備

市は今回、国の交付金事業などを活用し、市内全戸に光ファイバーケーブルを整備する「地域情報通信基盤整備推進事業」の実施を目指し、平成21年度一般会計補正予算に事業費約46億3千万円を計上しました。

- 1 市内全域に光ファイバー回線を整備
  - 2 携帯電話圏外地帯の解消
  - 3 市内全域に高速光インターネットサービス
  - 4 ケーブルテレビサービス(地デジ難視聴地域の解消)
  - 5 行政告知放送端末の全戸設置
- などの整備を進めるものです。

### 連合審査会を実施

この事業については、総務委員会、文教厚生委員会、産業建設委員会を交えた連合審査会で審査を行いました。

**Q** 交付金事業で市が整備する配線などの範囲は。

**A** 引込線、V・ONU(光信号を電気信号に変える装置)、行政告知端末及び同端末までの宅内配線を市が整備する。

**Q** 有明町の有線放送、松山町の個別受信機について今後どう考えているか。

**A** 有明地区の有線放送については、開発農協とのような事業の協力ができるのか、現在協議を進めている。松山地区の個別受信機については、告知放送端末が整備されることとなるため、入れ換える方向で、関係課と協議中である。

**Q** 公債費(市の借金)5億4千万円を使ってまでも実施しようとする理由は。

**A** 市内には携帯電話が通じる所と全く通じない所、地上デジタル放送も全く受信できない

地域、インターネットも※A DSL化されていない所もある。

きる。

告知放送についても有明町が有線放送、松山町が個別受信機、志布志町が屋外の無線放送という状況であり、同じ市内でありながら情報格差が生じている。

光ファイバーを敷設することによりこの問題を一気に解決で

※ADSL：電話線を使い高速なデータ通信を行う技術

### 反対討論

- このような大きな事業を、いくら国の補正で補助率がいいからといって、簡単に採用するのはいいのか。
- 庁舎内の検討組織も事業の前進ありきの組織であり、理解をしているとは思えない。
- 有明の開発農協との協議も整っていない時点で、スタートしているのか。
- もっと職員の見解、市民の見解を聞くべき。
- 対象地区の綿密な調査をもっとすべき。
- 料金プランは住民の所得を考えた時に果たして大丈夫か。
- 事業者が途中で破たんし、撤退した場合は、後々大きな負担をせざるを得ないような状況を生まないためにも、もっと少し慎重に取り組むべき。
- 関係担当局がいろんな意見をしっかりと出し合って、結論に至ったのか。

西江園議員

小園議員

起立採決による賛成多数で**可決**

22年度中に実施へ

# かったまちづくりへ

## 22年度の事業

**地元のうんまかもんで食育を**

市の特産品である牛肉、黒豚、はも、うなぎ、メロン、米の6品目を学校給食に提供し、食に関する指導にも活用します。

166万円



**産声にお祝いを  
年配者に敬意を**

本年度より第1子、2子に出生祝金を5万円支給へ、また敬老祝金の基準年齢を年度内に達する者へと拡充します。

1825万円  
1707万円



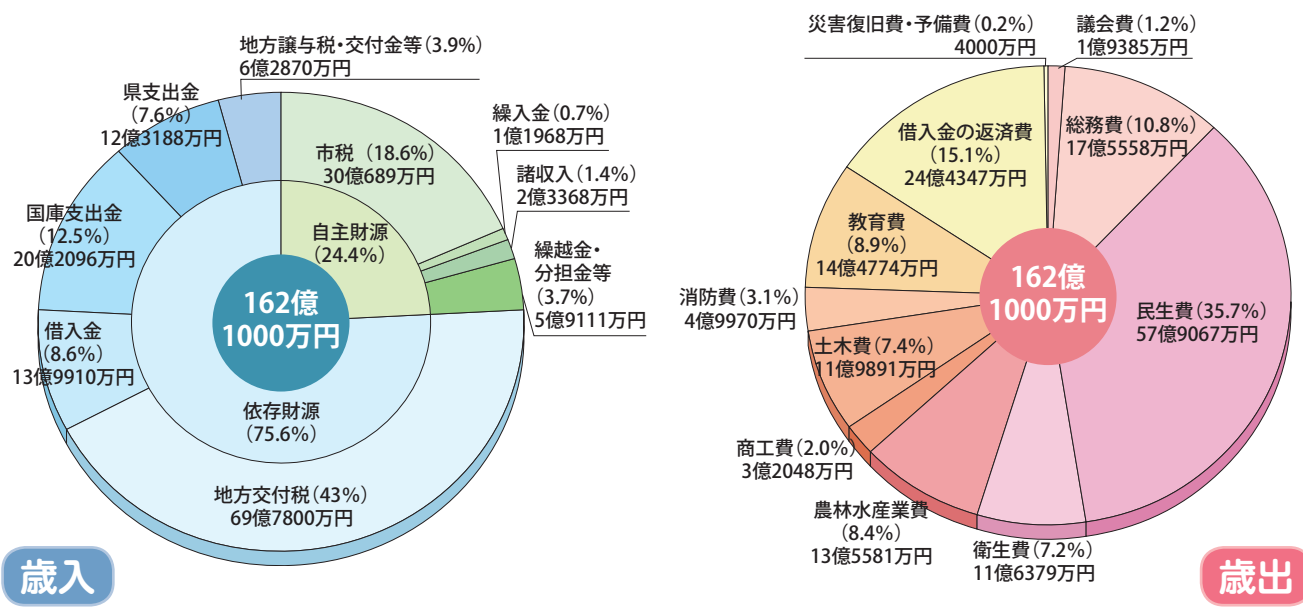
**情報通信技術を活かした農業へ**

ほ場や牛舎にカメラを設置し、農畜産物の24時間監視やライブ映像により消費者への産地アピールに活かします。(繰越事業)

3700万円



### 平成22年度 一般会計



## その他の事業

自治会集会施設の整備 災害に伴う復旧事業にも補助します。	440万円
国勢調査を実施 市内全域を対象に、10月1日を基準に行われます。	1579万円
商工業の振興対策に 商店街活性化対策や特産品の開発を支援します。	1405万円
志布志市衛生自治会の振興に サンサンひまわりプラン、共生協働ごみゼロまちづくり等に充てられます。	720万円
元気はつらつな志民の健康づくりに 健康づくり推進員「元気に志隊」による啓発。	173万円
野菜の桜島降灰被害対策に	9964万円
肉、乳用牛・豚の優良種育成へ 優良種の導入や購入費を補助します。	2000万円
林道鎌石柳井谷線、陣岳線を舗装	1994万円
耕作放棄地に歯止めを 耕作放棄地を農地として復元し、農業に利用する担い手に補助します。	175万円
六月坂安良線 弓場ヶ尾佐野原線の改良	1億4787万円
中学校の施設を改修 松山中学校のプールろ過機設置工事等を行います。	1800万円
「こころざしを高める」教育の推進 正しく美しい日本語を話せる児童の育成。	43万円
条例公民館の備品購入に	220万円
国指定志布志城跡史跡を公有化へ	3241万円



整備進む六月坂安良線

# 住んでよ

国際バルク戦略港湾指定へ向けて

国は、バラ積み船で石炭や穀物など扱う港湾の中から国際競争力のある港湾を選定し、拠点港（八幡港）として集中投資し整備する「国際バルク戦略港湾構想」を打ち出しました。



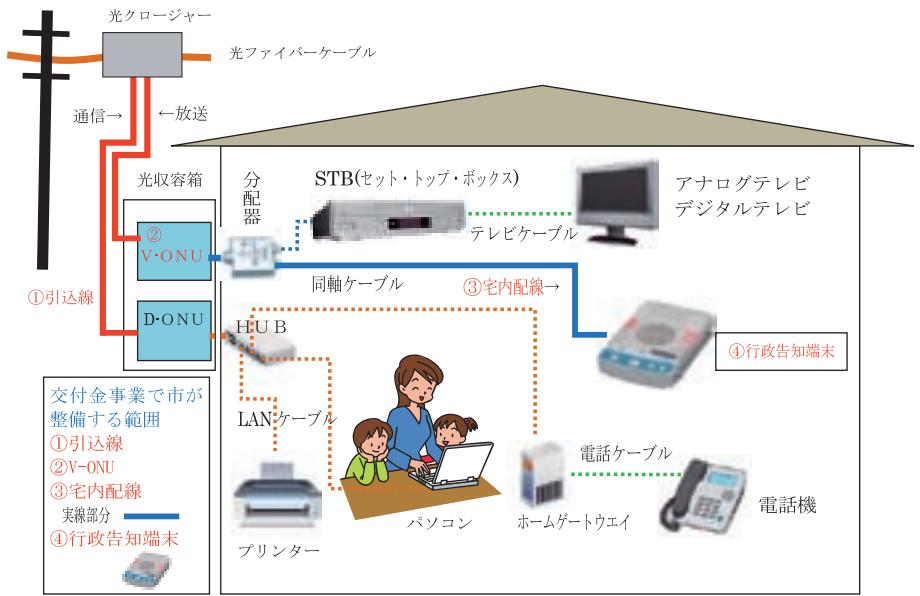
87万円

## 平成22年度 特別会計

会計名	予算額	前年度比	採決結果
国民健康保険	47億6288万円	1.4%	賛成多数
老人保健	667万円	△86.2%	全員賛成
後期高齢者医療	3億3718万円	△5.7%	賛成多数
介護保険	32億474万円	2.4%	賛成多数
下水道管理	3億517万円	△8.4%	全員賛成
公共下水道事業	259万円	△29.7%	全員賛成
国民宿舎	1億1003万円	0.5%	全員賛成
合計	87億2926万円	0.6%	

# ICT 事業 とうなる市民の負担

## 総務委員会



各家庭への引き込みと宅内配線イメージ図

21年度一般会計補正予算 (第8号)

**Q** ICT事業実施に当たり庁舎内でのような協議をしたか。また、市民の費用負担はあるのか。

**A** 課長級の電子自治体推進会議で大きな計画を、補

佐や係長級の電子自治体推進リーダーで事務レベルの協議をした。活用プロジェクトも編成し協議している。

行政告知端末は市が貸与する。宅内配線は交付金の対象外だが合併特例債を活用するため市民の費用負担はない。行政告知端末には月々の使用料も発生しない。

職員の勤務時間、休暇、給与に関する条例の一部改正

月60時間を超える時間外勤務手当の支給割合を100分の150に引き上げる。また、引上げ分の支給に代えて、代休時間を指定できることとする。

**Q** 時間外勤務が60時間を超える各課別の実態は。

**A** 総務課4名、選挙管理委員会1名、情報管理課2名、港湾商工課5名、税務課12名、福祉課1名、保健課2名、企画政策課3名、農政課3名、生涯学習課1名の合計34名である。

22年度一般会計当初予算

**Q** 消費生活相談の状況内容。

**A** 松山13件、志布志28件、有明28件、不明6件の計75件である。そのうち30名は70代から90代までの高齢者である。内容は訪問販売、多重債務、振り込み詐欺で、解

決済みが63件である。認知症の方などは地域包括支援センターと連携し、悪質なケースは防災無線で周知している。

指定なるか志布志港

**Q** 国際バルク事業の概要は。

**A** 国土交通省が検討委員会を平成21年12月設置し、大型船舶により一括してバラ積み貨物を運ぶ港湾を限定する作業が進められている。候補地として釧路、鹿島、志布志の3地区があがっており、穀物ではトウモロコシの取扱量全国2位の志布志港が有力視されている。

22年度国民宿舎特別会計当初予算

**Q** 指定管理者からの修繕や備品更新の要望の選択基準は。

**A** 耐用年数を基準に必要な最低限の予算を計上している。

償還とうなるICT事業

**Q** ICT関連事業で合併特例債を5億4千万円充てるが、償還が始まると、他の償還との懸念はないか。

**A** 償還については、利率を2%と見込み、単年度約

5千万円の償還となる予定。平成23年度以降は20億円程度の借り入れとみている。平成25年度には27億円程度の償還となり約2億5千万円公債費が増額となる。借り入れの70%は交付税措置により1億7千万円程度入ってくる。市の負担は実質的には7千万円から8千万円となる。



# 子育て支援 第1子からも5万円支給

## 文教厚生委員会



子育て支援センターはぐくみランド

出産祝金支給条例の  
一部改正

Q 改正の内容は。

A 現在までは第3子から10万円を支給していたが支給対象者を拡充して、第1子も第2子にも5万円を支給するものである。

21年度一般会計補正予算  
(第8号)

Q 図書館に計画されている工事の内容は。

A 来館者が雨に濡れないように駐車場から裏入口までの通路に屋根を設置するものである。

Q 志布志小学校のトイレ工事の内容は。

A 外にあるトイレの水洗化と一部を洋式化する。

22年度一般会計当初予算

Q 中学校の武道の必修化とは何か。

A 平成23年度から始まる制度で、各校が柔道か剣道の種目を選択する。そのため柔道の場合、畳やマットを購入するものである。

Q 河川の水質調査の結果はどうか。

A 全体的には田原川を除き水質は良くなりつつある。

Q 子ども手当の内容は。

A 法案成立後の4月以降に国からの説明がある予定である。対象者は昨年11月現在で、4947名である。

Q 志布志城跡地の公有化の見込みは。

A 土地開発公社に先行取得を依頼しており、ほとんど購入済みである。



国指定史跡志布志城跡

Q 出産祝金の対象者は。

A 第1子と第2子が225名、第3子以降が70名の見込みである。

Q 特定検診の成果は。

A 結核は発見されなかったが、胃がん、大腸がん、乳がん、子宮がんなどが発見された。

22年度国民健康保険  
特別会計当初予算

Q 税の滞納による差押えの状況は。

A 平成21年度は、不動産73件、預貯金58件、給与43件、債権43件、動産1件であった。

22年度介護保険特別  
会計当初予算

Q 自宅介護者数と手当は。

A 対象者は要介護4から5の100名で手当が月額8000円である。

Q 施設へ入所できない待機者は何人か。

A 特老への待機者は、約300人である。

反対討論：国はもっと責任を持つべきで国の負担をもっと増やすべきである。

賛成多数で可決

# やっちくふるさと村の指定管理者決定

## 産業建設委員会



再開待たれるやっちくふるさと村

やっちくふるさと村の指定管理者の指定について

Q 新たな指定管理候補者は。

A 松山町の(有)渡辺商店で、指定の期間は3年間である。主な年間事業計画は、地鶏

手打ちそば、コッコ牧場で飼育する地鶏の卵・肉の販売等である。

Q 車の通行量が少ないなか、設置目的である地域との連携等の指導はどのようになっているのか。

A 新しい指定管理者と協議しながら、地域の核施設となるような形で進められるように指導していきたい。

22年度 一般会計当初予算

Q 新たに設置する農業委員協力員はどのような人に依頼するのか。

A 農業委員の補完的な業務をするため、元農業委員、JAのOB等で、志布志地区に4名、有明地区に3名、松山地区に3名を計画している。

Q 「県地域振興公社営業」等による畜産施設整備がすべて完成した場合、どの程度の増頭になる予定か。

A おおむね5千頭の増頭になり、総体では曾於市と同程度になる。

Q 水産業振興費の減額の理由は。

A 骨格予算のためであり、施設整備の要望があるので6月に肉付けをしていきたい。

Q 農家の後継者対策を緊急に打つべきではないか。

A 農業農村家業再生支援事業で現在まで16人が認定を受けて家業を継いでいるが、今後、県・国の事業等も活用していきたい。

Q 集落の道路清掃作業が年1回に統一されるが、1回で大丈夫か。

A 共生・協働・自立という市の方針から集落でも管理をお願いしたい。どうしても管理が行き届かない所は市の作業員で対処していく。

21年度一般会計補正予算(第8号)

Q アグリコミュニティ事業とは。

A 国のモデル事業として、ほ場にフィールドサーバー、ライブカメラを設置して、気象、作物の生育状況などの情報を提供するとともに、酪農家へ分娩監視カメラ、発情発見システムを導入するものである。

Q 道路維持費1億5000万円の内訳は。

A 本庁が7件で4200万円、志布志支所が15件で4450万円、松山支所が6件で4350万円である。

水道事業会計

Q 石綿管の更新計画は。

A 約6km程度残っているので、今年度から年次的に改修していく計画である。



坂元 議員

# 新しい農業振興を図れ

## ▶ ブランド推進課を新設



新しい技術と畑かんを活かした産地育成を

**坂元修一郎議員** 本市の基幹産業は農業であるが、その状況は大変厳しいものがある。農業の活性化なくして地域経済の発展はないと思うが、2期目の農業政策はどのような取り組みを考えているか。

**市長** 農業振興は志布志港の振興とともに最重要課題である。本市には畜産をはじめ誇れるものが数多くある。循環型農業と併せて環境に配慮した最新の技術を取り入れ、これらの豊富な地域資源

を活かし、本物づくりを行うためブランド推進課を設置する。

### 新設する必要性とは

**問** 他の取り組みも考えられるが、ブランド推進課とはどのような目的で設置されるのか。

### 持続的な地域経済の活性化が目的

**市長** 市内のそれぞれの業種で一生懸命ブランド作りにも進んでいる

ことをつけ、戦略的な構想として付加価値の高い農産物を、地域全体で情報を発信し、地場商材の販路拡大を行うためのサポートを行っていく。全国はもとよりアジアを視野に入れ、多分野的な活動を目的とする。

### 新技術を利用した農業は

**問** 近代的な農業技術が進んでいるが、本市での取り組み状況はどうか。

### モデル事業にも取り組む

**市長** お茶ではIPM研究会、ピーマンでは天敵の導入の他、アグリ・コミュニティ事業により市内のほ場にフィールドサーバーを設置し、気象データを農家に提供していく。また畜産においては、発情や分娩監視カメラ等のICTを使ったモデル事業にも取り組む。

### 畑かんの有効利用は

**問** 東部は全面、南部も通水が開始され、多様な農産物の産地育成が可能

になってきた。整備の進行に伴い、畑かんを利用した新しい営農技術の提供が必要になるが、指導状況はどうか。



豊かな資源と港を活かしたブランドづくりが必要

### 指導体制を整える

**市長** 全域において通水地区が拡大している。県・農協・改良区でプロジェクトチームを結成し、水利用の技術促進を図っていく。なお、畜舎の暑さ対策への利用は要望中である。

### 水利の管理体制は

**問** 受益地が拡大すると、

水を大切に使うための取り決めや管理組合も必要ではないか。

### 組合の設置を検討

**市長** 無駄に水利用をしないためにも、最終的には分水工、ファームポンドごとに利用者による水利組合の設置を計画している。

### 儲かる農業への指導は

**問** ひっ迫した現状から脱却するため、販売まで視野に入れた本市独自の指導体制が必要ではないか。

### ブランド化と共に

**市長** 現在、販売まで含めた農業指導や審議会等はない。これから取り組む市全体のブランド化を図っていくなかで、農業振興対策協議会や農林水産技術連絡協議会とともに連携しながら、儲かる農業につなげていきたい。



小野 議員

# ふるさと納税で増収を図れ

## ▼地方の財源確保をはじめ有り難い制度

**小野広嗣議員** 平成20年10月、志布志市ふるさと

志基金寄附金条例を制定しているが、厳しい財政状況が指摘される中、このふるさと納税を増収につなげるチャンスと捉え、攻めの挑戦を展開していくべきではないか。

**市長** 条例設置後すぐにホームページにふるさと納税のコーナーを設け、市報にも掲載し、PRを行った。地方の財源確保をはじめ、ふるさとへの思いのある方々が、その思いを行政へ反映できる仕組みとしても有り難い制度である。寄付者の希望を最大限に考慮し、事業を実施した。

**志布志支所は市民の利便性に努めているのか**

**問** 総合支所そのものの最大の責務は、そこに住む市民の利便性そのもの



志布志支所

の確保を第一義に考えるべきである。志布志支所の利用状況や事務量を適正に把握したうえで、職員、嘱託職員、臨時職員等の配置がなされ、市民の皆さんの利便性の確保に努めているのか。

**市民の利便性を重視していきたい**

**重視していきたい**

**市長** 支所にあつては、

本庁の本課と事務分掌等を十分協議し、緊急の場合は相互に応援態勢を取っている。しかし、業務の中には一時的ではあるが多数の市民の方が集中して混雑したこともあるので、今後とも市民の皆様の利便性を重視し、さらに連絡を密にするよう指示したい。

**粗大ごみ収集の現状をどう認識しているのか**

**問** 粗大ごみの収集は、現在、戸別収集になっている。高齢者等で収集場所に持って行けない人は戸別収集も必要であるが、一方で同じ高齢者の中にも以前のような自治会内の集積所における収集を望む声も多くある。市民のニーズ、現状をどのように認識しているのか。

**グループ単位で申し込める措置をしている**

**市民環境課長** 広報不足もあるが、グループ単位で申し込める措置をしている。ただその際は自分のごみには責任を持ってもらう意味から、場所と代表の立ち会いを決めて申し込む方法をとっている。今後さらなる周知を図りたい。

**救急医療情報キット活用について協議したのか**

**問** 昨年6月の定例会で救急医療情報キットの活用について提案した。市長は、今後は個人の医療情報を最新のものとして保管し、緊急時の対応に備えることが必要なので、先進自治体の検証を行い、関係課に協議を行わせたいと答弁している。その後どのような協議がなされたのか。

**消防と協議し早いうちに取り組みたい**

**市長** キットに盛り込む内容やその内容の更新のあり方などを関係者と十分協議したうえで取り組みべきと考える。特に消防との協議が必要なので、すぐさま協議を開始して、早いうちに取り組むことを目指したい。

**中一ギャップの現状と対応策について示せ**

**問** 小学校から中学校へ進学する際の環境変化に対応できず、生徒が不登校や問題行動を起こす「中一ギャップ」の現状とその解消に向けた取り組みと課題について示せ。

**危機感を持って**

**対処したい**

**教育長** 本市の中学校においても例年、中学校の不登校の生徒数が小学校の不登校の児童数より増える傾向がある。対策の一環として、各小中学校ごとに学業指導や生徒指導、教師間の連携等を行っている。今後とも児童生徒の心身の状況や発達段階に十分配慮しながら、各種研究や学校訪問等あらゆる機会をとらえ、対応していきたい。



丸山 議員

# 志布志港の国際バルク戦略港湾構想について市長の認識は

## ▶ 県が4月に応募する



国際バルク戦略港湾の指定を目指して

**丸山 一議員** 国や県の構想と市長の取り組みについて問う。

**海洋国家日本の復権を課題に掲げ検討する**

**市長** 国土交通省では、海洋・観光・航空・国際展開・都市住宅を検討課題として国際バルク戦略港湾検討委員会を設置し、大型船による一括大量輸送となる港湾の選択と選定基準の作成等について検討している。

**ブランド推進課とは**

**問** 官民連携のもと地場商材を世界市場へ発信できるよう積極的に取り組み実施しているところがあるが、推進課とは。

**志布志市全体のブランド化を急ぐ**

**市長** 市民が愛着と誇りを持てるまちをつくり、持続的な地域経済の活性化を図っていく。

**乳酸菌を使った豚かん尿による有機栽培付けを畑かん営農に生かせるか**

**問** 前回質問してから一年経つが、取り組み姿勢は全然見えない。現在どのような認識か。

**本格的に取り組みたい**

**市長** 各種農家の方々を中心とした協議会を結成して推進する方向を探っていく。

**食料供給基地として大隅半島の農地を生かせ**

**問** 輸入超過の港から脱却するため、曾於東部・南部4900haを含む大隅半島の農地を整備し、食料供給基地として生かせないか。

**営農ビジョンを作成してその推進に取り組んでいる**

**市長** 関係機関と連携しながら食料供給基地の創出に取り組んでいる。

**住宅用火災警報器の設置状況は**

**問** 昨年の3月で住宅用火災警報器は11・4%の設置率であったが現在はどうか。

**市全体で33・3%である**

**市長** 市全体で33・3%である。今後、消防組合と連携し、また市の広報紙等でその必要性を呼びかけ、効果的な設置推進の対策を講じていきたい。



火災警報器の設置を

**市のLEDの設置状況を示せ**

**問** 地球温暖化対策のためのサミットでは先進国が80%のCO2削減を宣言したが、市の設置状況は。

**公園に2基設置**

**市長** 志布志町の三角公園と大原分譲地内の公園に2基設置した。志布志町内480基の照明灯を設置したが、光の広がりや単一方向で狭いのでLEDは採用しなかった。

**庁舎内については**

**問** 庁舎内設置は全然進んでいないと思われるが。

**誘導灯・廊下に設置を**

**市長** コスト面と技術革新が進んでいるので、誘導灯・廊下には設置を進める。



岩根 議員

# 事業仕分けを積極的に

## ▼まず「補助金」を見直す

今後も引き続き取り組む

市長 一期目に掲げた政策のうち「総合的な新自治会システムの構築」については特に懸念している。現在「自治会の在り方検討委員会」でその推進方法を議論している。

今後の市政運営については、第一次志布志市振興計画の各種事業に引き続き取り組み、平成20年度に導入した行政評価を活用しながら、計画実現のために最大限の努力をしよう。

**岩根賢二議員** 所信表明では事業仕分けは「必要に応じて行う」とあるが、そのような消極的な姿勢ではなく、まず仕分けをするという積極的な姿勢で臨むべきではないのか。

市長 まず補助金について取り組みたい。補助金は一度設定されるとそれらの見直しがされにくく、長期化、既得権化してきているので、平成20年度に策定した「補助金制度等に係る指針」に基づき

事業仕分けに取り組み、無駄のない市政運営を行うための市民参加型の改革を進める。

### 志布志版エコツアーを

問 市内には環境に関連した事業所が数多くある。

例えば若潮酒造の温水を利用した温水プール、ハネバックの廃熱を利用した蓬の郷の入浴施設、志布志畜産の大型の太陽熱温水器、大隅衛生企業の生ごみの堆肥工場、サンケイ工業の焼酎かすと建設廃材による堆肥や培養土製造等がある。加えて市内のごみ分別の様子の見学と地元食材による食事等をセットした「志布志エコツアー」を企画する考えはないか。

### 取り組んでいきたい

市長 環境政策については県内外や外国からも視察団を受け入れている。

今後グリーンツーリズムも始めたいと考えており、その中にエコに関することも組み入れながら取り組んでいきたい。

### よろず相談室の設置を

問 市民が市役所を訪れたとき、一か所で用事を済ませられるように「すべやる課」と総合案内窓口を一つにしたような「よろず相談室」を設置したらいかがか。

市長 市民の要望や相談には迅速かつ的確に対応できる体制になっているので「すべやる課」的なものは設置は考えていません。

### 設置は考えていません

市長 市民の要望や相談には迅速かつ的確に対応できる体制になっているので「すべやる課」的なものは設置は考えていません。



本庁内の総合案内窓口

### 一期目でやり残した政策の今後は

問 今回の所信表明では一期目で残された課題や反省点についてはふれられていない。マニフェストに掲げながら実現できなかった政策については、今後取り組み考えはないのか。



サンケイ工業による培養土製造



立山 議員

# 仮称ブランド推進課は何月から

▶ 7月から実施



今が旬のハモ

**立山 静幸議員** 本市は、うなぎの生産量が日本一、茶の生産量は九州で2位、生産量県内一のいちご、鹿児島ブランドのピーマン等は本市の代表作物である。チリメンジャコ、ハモ等の水産物も豊富で、食料供給基地として重要な地域となっている。この豊富な地域資源を有効に活用するため、仮称ブランド推進課を設置する

と表明されているが、何月から実施する考えか。

**市長** 本市の各種産品について、さまざまな業種の方がブランドの確立を目指している。地域全体としてのブランド化を図るため、仮称ブランド推進課を立ち上げたい。7月の課設置に向け6月議会に提案する考えである。

## 和牛生産・肥育日本一の取り組み

**問** 本市は、種牛・和牛生産とも立派な成績を上げる育成者や優秀な牛の育つ地盤が整っている。新たな挑戦として、優秀農家・技術者の育成に取り組みながら、和牛生産・肥育日本一を目指すとは表明している。その内容は、

## 日本一を宣言し積極的に取り組む

**市長** 市内で生産された子牛が、市内で肥育され、そしてその牛に付加価値を付けて出荷するようなブランド構築にも力を尽くす。既存農家の肥育開始や拡充に加え、新たな法人が2千頭〜3千頭規模の肥育経営を始めたい主旨の申し出があり、これが実現すると、日本一も夢ではない。そのよつなところから、技術指導力を強めて優秀農家、技術者の育成に努める。



肥育日本一への取り組みへ

## 農産加工研究会の再立ち上げ

**問** 市長は、所信表明で、うまいものコンテストを実施し、地元の食材によることでしか食べることができない志布志の名物づくりの開発に努めると表明している。そこで名物づくり開発に旧有明町で、平成12年から合併後の平成20年度まで続いていた農産加工研究会を再度立ち上げる考えはないか。

## 女性認定農業者を中心に実施中

**市長** 志布志市担い手育成総合支援協議会のアクションサポート事業として、女性認定農業者を中心に実施中である。平成23年度まではこのまま活動したい。



女性認定農業者農産加工研究会の開講式



長岡 議員

# 市長選挙と農業振興について

## ▼地域の発展には経済産業の振興が重要

**長岡耕二議員** 今回の市長選挙で市民の声をどう受け取ったか、また投票率をどう感じたか。

**市長** 市民と直接話しする機会を得て、市民の皆様の声を謙虚に受けとめた。着実に進行している

高齢化、教育文化や福祉の振興を十分考えなければならぬ。地域発展に最も重要なのは経済産業の振興と考える。

市長選挙の投票率については、投票日当日63.61%、期日前投票16.96%、全体で80.57%。最近の市長選挙の中では最も高い投票率で市民の関心の高さを感じた。

### 日本一農業こころ

**問** ブランド推進課を設置し、日本一の農産物生産を行うとあるが、どう取り組むのか。

### 各種事業を導入して有効活用

**市長** 農業経営を取り巻く環境の厳しさは、世界同時不況で、消費者の買い控えによる消費の落ち込みで、農畜産物は価格



低迷し、在庫量の増加により、厳しい現状と認識している。今後、農業振興発展のために、各種事業の導入や市単独事業を有効活用して取り組んでいく。

### 畜産経営緊急対策事業について

**問** 昨年度までであった、畜産経営緊急対策事業は、農家にとり大変有意義な事業であったが、22年度当初予算に計画されていない。引き続き取り組み考えはないか。

### 6月補正に向けて協議を進めている

**市長** 畜産経営緊急対策事業の様々な対策により、農家の経営継続に向けた意欲向上につながったものと考えている。事業継続の要望もあるが、国からの詳細な内容が不明なところもあるので、6月補正に向けて協議を進めている。



畜産経営緊急対策事業の継続を



ふれあい移動市長室





東 議員

# 漁業者への助成支援は

## ▶ 漁協と協議を重ねる



漁業への支援を

**東 宏二議員** 農業と漁業の格差について、市長は、4年間に公平、公正な事業執行また補助、助成はどうかであったか。農業の事業費、補助は、漁業とは、ほど遠い状況である。今後漁業者にどのような政策や支援を考えているか。

**市長** 振興を目的とした助成支援については、漁協と協議を重ねて、漁協に対して必要に応じて助成支援を実施している。漁業者個人に対する助成支援については、今の段階ではないところである。今後については、また更に必要に応じて、漁協と

協議を重ねながら、考えていきたい。

**燃料の一部助成はできないか**

**問** 漁業関係者のなかでも、やはり一ばん効果的なのは、燃料の一部助成があれば、漁に行く日も多くなる。また市場も活気づくと言われるがどうか。

**漁協と協議する**

**市長** 助成は難しいと思うが、経営改善、経営維持については、利子補給事業がある。今後、その取り組みについては漁協と協議を重ねたい。

**漁船の安全対策は**

**問** 志布志港は、九州で2番目の中核国際港として位置付けられているなか、新若浜コンテナヤードが供用開始された。国が検討している穀物バルクの国際拠点港（ハブ港）の指定へ目指し、要望もしている。出入港する船舶が増加するが、先般指

摘した港湾水域での漁業者の安全性について、どのように対処したか。



新若浜地区の多目的国際ターミナル

**漁業振興を考慮し 漁協と協議**

**市長** 志布志港の入港船舶数は、年間約2500隻でそのうち国内航路分が約1750隻、外国航路分が約750隻、コンテナ船が約420隻である。担当課が漁協と航路設定について協議した。船の安全確保に努めるため、外航船入港時に水先案内人による入港誘導の検討を関係機関へ要望し

協議されていると報告を受けている。この問題については、漁業振興との兼ね合いもあるので漁協と慎重に協議を進めていく。

**特定港の指定の 取り組みについて**

**問** 国際戦略ハブ港指定を県とともに国に働きかけている答弁があったが、指定を受けると外航船が多くなる。早いうちに特定港の指定をどう考えるか。

**引き続き連携を図る**

**市長** 指定の時期がきたら取り組みを開始したいと思う。



金子 議員

# 空き家対策について

## ▼補助金導入を進める

**金子光博議員** 景観の改善や崩壊、火災防止のため、市内産業の活性化を図る等の観点から、危険廃屋の解体撤去を進めるために補助制度は考えられないか。

**市長** 空き家の現状を把握したうえで関係各課と協議を行い、危険廃屋の解体撤去に係る補助金の導入について進めていきたい。



解体望まれる危険廃屋

**問** いづころになるのか。

**建設課長** 6月の補正予算というところで市長とも打合せをしたところである。

### 市道の整備は

**問** 市道の案内標識は十分か。

**市長** 不足していると感じるので、順次整備を進めていきたい。



市道の高所伐採作業

**問** 市道を覆っている雑木の状況をどのように考えているか。

### 計画的に実施していく

**市長** 道路管理者として利便性向上のために、高所伐採は行っていかねばならないので、維持作業班を集中的に投入し、計画的に実施していきたい。

**県道柿ノ木志布志線（柳橋〜弓場ヶ尾間）の進捗よく状況と今後の見とおしは**

### 22年度中に完成予定

**市長** 平成22年3月末で77%1080m完了予定で、残りの23%320m、下柳バス停から柳橋までを平成22年度中に実施完成の予定である。2期工事の残り800mの市道、昭和弓場ヶ尾線までの部

分については、昨年11月、県庁において土木部長をはじめとする関係課へ、市の最重要路線として整備の推進を強く要望したところである。

**問** 地元県議との連携はどうか。

**市長** 県議とも十分連携を取りながら、早期の採択、実施へ向け要望を重ねて努力しています。



県道柿ノ木志布志線の整備完了部分



# シルバー人材センター事業の効果は

## ▶ 地域社会の担い手として期待



シルバー人材センター

**平野 栄作議員** シルバー人材センターについては、急速な高齢化社会へ対応することを目的として、旧町時代から支援育成がされてきたところである。合併後、当市の高齢者福祉行政のなかで本事業は、どのような位置づけにあり、事業効果はどうか。

**市長** 一線を退いた高齢者が、経験や知識を生かしながら地域社会のなかで活躍することで、医療費の抑制及び地域づくりに貢献しており、市の施策でも一番重要な位置づけである。

### 志布志ワークプラザの活用改善を

**問** 事務所が本所に一本化され、志布志ワークプラザから職員が異動となったことにより、施設の活用に支障が生じているようだが、改善は図れないか。

### 改善を図る

**市長** 組織再編後、改善されたと認識していたが、現在でも不自由な面があるとすれば、改善を図るようセンター側に伝える。

### 体育施設指定管理者制度移行によるメリットは

**問** 市には城山・有明・志布志の三施設があり、二団体が指定管理を実施しているところであるが、制度へ移行することで市としてのどのようなメリットがあるか。

### 利便性が向上

**教育長** 経験をもつ管理者により円滑な管理がなされている。経費の削減



有明 B&G 海洋センター

に加えて直営の場合、軽微な修繕や改修などで、職員による見積りや決裁等、時間を要していたが、即対応が可能となり利用者の利便性が向上してきている。

### 有明「B&G」海洋センタープールの改善は

**問** 利用者から天気の良い日が続くと室温、水温とも高くなって使い勝手が悪いという声を聴くが、改善する考えはないか。

### 改善を検討

**教育長** B & G プールについては、老朽化したところもあると認識している。応急的な対応として換気扇の設置等を実施しているが、不十分であれば再度、角度を変えて施設の点検を実施していく。工事等については、財政の状況を勘案しながら、緊急性のあるものから対応するようになっている。



本田 議員

# 議員の高額な報酬50%カットを

## ▼現在考えていない

市長 特別職の10%カット、これを50%カットにしようという形にして議員に提案するとなれば、今後、他の特別職とも相談しながら進めたい。

**問** 22年度条例改正の中で市長・副市長・教育長の給与の減額措置を講じるため10%カットとの兼ね合いは。

市長 議員発議による費用弁償の条例改正を検討してもらいたい。

### 議員発議ではなく ぜひ条例改正を

**市長** 財政状況等をかんがみ、市内の景気が上向いてきていないなかで提案した。議員の分については考慮していない。

### 財政健全化のため、議員も自ら身を削りながら

**問** 市長はいつも何もかも日本一と言っているが、私の言うことも日本中で2・3箇所取り入れるところがある。5本の指に入れば市民もいろいろな問題で協力すると思う。今後これが実現すれば、何10億の経済効果がある。条例改正が出来たら、後期高齢者の対策費・介護保険の助成金・癌の問題・少子高齢化・子育て支援等に取り組みができる。

**本田孝志議員** 市債の残高が平成20年度で232億円ある。平成22年度の当初予算162億円を上回る市債の残高である。国債の借金868兆円である。市の議員報酬は議会議長月額4028000円。副議長月額3166000円。議員月額29万4千円。私の議員年俸は、21年度約457万円で4年間の合計1787万円になる。4年間で出会日数約186日になり年約50日として、議員活動の日数を180日。合計230日×1万円として230万円になるよう条例改正をすることを考えていますか。

**市長** 一般職の給与の変動、市の財政状況等を勘案しながら特別職の給与と併せて適正な議員報酬を考えているので、現在は考えていません。

**問** 毎回、一般質問の中で10名ぐらいの議員が質問するが何事にも補助金を要請する質問がある。補助金が財政的にたいへんであれば、私は議員報酬を50%カットしたいと思うが、子・子孫に負債を残さないために条例改正を出す考えはないか。



小園 議員

# 中学卒業まで医療費の助成拡充を

## ▶ 内部で検討・精査し提案する



志布志支所

**小園義行議員** 現在6歳未満までの乳幼児医療費助成を、子育て支援の立場から、中学校卒業まで無料化する考えはないか。

**市長** 現在までの制度拡充の状況や財政状況等も今後見守りながら支給対象等の条件整備を行い、実施していきたい。もう少し内部で検討し適用について精査したうえで提案したいと考えている。

**市長退職金の見直しは**

**問** 昨年の議会で、1期4年間で1696万円もある市長の退職金について見直しすべきだ、との質問に、次の任期で考えると答弁したが、財政が厳しいなか、どのように考えるか。

市長退職金の見直しは

他の団体も調査し

精査して提案する

**市長** 今の段階ではどのような形ということについては考慮していないが、今後、ほかの団体等も十分調査し、本市にとっても私にとっても、ふさわしいものを精査して提案する。

**総合支所方式を今後どのように考えているか**

**問** 現在、有明本庁、志布志、松山総合支所方式をとっているが、今後志布志、松山の総合支所をどのようにしてゆくか。

**本庁方式に移行も考えたい**

**市長** 限られた人員で、より効率的な行財政運営を目指すために、総合支所方式の見直しが喫緊の課題であろうかと思う。組織機構再編計画と定員適正化計画の最終目標が平成23年4月であるので、これにあわせて総合支所方式から本庁方式に移行することについても考え

ていきたい。

**敬老祝金の75歳以上全員支給は**

**問** 当初予算で提案されている1700万円の予算があれば75歳以上一律に3千円の支給が可能である。対応はできないか。

**内容を精査し 内部で協議をする**

**市長** 時間をおいて内容を十分に精査し、各関係機関にも意見を聞きたい。合併以降新しく定めた内容になっており、期間が経過しているので、新たな検討も必要なのか、内部で協議させてほしい。

**子宮頸がん予防対策は**

**問** 年間1万5千人もの女性が子宮頸がんになり、3500人が亡くなっている。このことに対する認識と、国に対して公費助成の声をあげるべきと考えるがどうか。

**国に要望する**

**市長** さまざまな情報等を入力し、内容については把握をしている。また、ワクチン接種についても費用が4万円から6万円と多額にかかるので、公費負担でワクチン接種が受けられるよう国に要望する。



ふれあいプラザでの検診



鶴迫 議員

# 子宮頸がん予防ワクチン接種に全額助成を

## ▼考慮する必要がある

**鶴迫京子議員** ワクチン接種と検診による早期発見で、予防が100%可能である子宮頸がんについての現状認識は。

**市長** 子宮頸がんは、年間15000人ほど発症して、3500人位の人々が亡くなり、乳がんの次に罹患率も多いときいてる。

本市のがん全体での死亡者が、毎年1000人から130人ほどで、子宮がんでは1人から4人位が亡くなっている。

**全国の先進事例にならい  
本市ではどうか**

子宮頸がんにもワクチン接種を



**問** 20代から30代で急増する子宮頸がんの原因は、発がん性HPV（ヒトパピローマウイルス）の感染である。感染から発症するまで、数年から10数年かかるが、感染する可能性の低い10代前半に、子宮頸がん予防ワクチンを接種することで、発症をより効果的に予防できる。

全国でも栃木県大田原市や新潟県魚沼市や埼玉県志木市など、自治体独自で予防ワクチン接種に全額助成をすでに決めている。  
命を育む子宮が、がん

に侵されないように予防にお金をかけて、本市でも全額助成することは考えられないか。

**まだまだ十分  
考慮する必要がある**

**市長** 21年度子宮がんは15・7%である。いちばん多いのは肺がんで、多いものについては対応している。子宮頸がん予防ワクチン接種は100%効果があり、有効で特異的なすばらしいものと認識するが、さまざまな病気ががんがあるなかでの取り組みになる。

全体的な医療助成のあり方として公費負担に考慮する必要があると考える。

**苦情や要望などへの対応は いかに関われているか**

**問** 窓口対応など市への苦情や要望などの処理は苦情処理委員会などをつくり、問題や課題の意識の共有が全庁的に図られているのか。

**課長会などで意識の統一を図っている**

**市長** それぞれの担当で取り扱ったものについては報告がある。また、課題の共有化として、課長会などで内容を照会して意識の統一を図っている。

**苦情や要望などを公開し  
広報する考えは**

**問** 市民に対して内容を公開し、広報している自治体もあるが、接遇日本一のまちをめざしている本市では考えられないか。

**今の段階では  
考えていない**

**市長** 意見箱等市長への便りのなかで苦情、要望など寄せられた分は、総務課がまとめて関係課の回答を整理したうえで、文書で回答し、理解をしてもらっている。また市報の「市長への便り」の欄で回答をしている。

市民へは苦情、要望などの内容を一定の形で公開し、また、対応について広報することは今の段階では考えていない。



# 自治体生産性の取り組みはどうか

## 自治体生産性の向上に取り組む



ごみの収集作業

**下平晴行議員** 関西経済研究所が自治体生産性の労働コスト、窓口業務、徴税業務、ごみ収集処理業務の全国780市のランク付けを発表した。ごみ収集処理業務については49位で、このことは、ごみ収集処理の一貫した民間委託の取り組みで評価されている。他の業務は改善を図る必要があるがどうか。

**市長** 労働コストについては、給与水準は全市の平均を下回っているものの、職員数が全市の平均を上回っているためであるが、平成22年度には37人少ない356人になる。窓口業務については、効率よい職員の配置が一番必要である。徴税業務については、積極的な外部委託を進めると同時に、広域行政を活用して徴収組織を強化するなど、自治体の生産性の向上に取り組む。

### 公契約条例の制定について

**問** 契約を行っている事業で公正な労働基準が守られていない現状の認識はどうか。

**市としての権限が及ばない部分がある**

**市長** 民間における事業主と、従業員である市民との雇用契約に関しては、実態の把握とその調査、指導など、市としての権限が及ばない部分がある。

**本市条例に向けた取り組みはできないか**

**問** 労働者の賃金の保障、いわゆる労働基準に適するため、本市条例に向けた取り組みはできないか。

**条例導入の状況ではない**

**市長** 条例の取り組みについては、公契約に基づく相手方は建設業ないし指定管理者等である。その事業所で働く労働者の雇用関係の改善、調整に

については、契約を結んでいる者として見守る必要がある。条例導入の状況ではない。

### 補助金の見直しについて

**問** 「補助金制度に係る指針」で4つの項目を定めて見直しを図るとある。そのなかに整理合理化の視点で、公募型補助金制度の検討とあるが、ゼロベースでの取り組みはできないか。

**補助金については事業仕分けで議論していく**

**市長** 現在、行財政改革のなかで行政評価システムを導入して事業見直しをしている段階である。そのなかで、民主党政権になって、仕分け制度により、不要な事業について見直しがされてきている。補助金については仕分けで議論して、全部ゼロベースということは考えていない。

### 事業仕分けの取り組みについて

**問** 政府の事業仕分けが放映されて、国民の政治への関心が高まっている。市長は所信表明のなかで、「市民参加の事業仕分け制度の必要に応じ導入し、適正な予算配分と無駄のない市政運営を行うため、市民参加型の改革を進めていく」と表明している。市民の皆さんが思っているのは、予算の使途を行政と議会だけで行っており、予算の使われ方、予算の流れが見えないため、透明性のある取り組みをしてほしいという、期待があると思う。そのようなことを考えると補助金の仕分けでなく、市民全体でかわっている事業の仕分けはできないか。

**補助事業も総体的に市民が対象になっている**

**市長** 福祉のサービス、経済的な地位向上のための事業、文化・教育の事業など、すべて総体的に市民が対象になっている。

## さあ、市民の出番です

傍聴者 廣岡 慎吾

1月31日の市議会議員、市長選挙でこれからの4年間の市政を託す面々が選出されました。我々市民が一票を行使し、「この人こそ」の思いを込めて議会、市役所に送り込んだのです。市民のすべきことがこの選挙で終わったのではなく、いよいよ始まりました。

新メンバーによる議会が3月にあります。私たちの選んだ議員さんたちが、選挙前に期待した仕事をしてくれるのか、それとも選挙に向けた空公約だったのか、一票を投じた市民は大きな関心を持って監視していかなければなりません。また執行者側、すなわち市長を頂点とする役場職員の人たちも、市民の側に立った行政を考えているのか、市民の実情を踏まえた施策を実施しようと動いているのか、見守る必要があります。

この市議会だよりに書かれていることは、ほんの一部に過ぎません。言い方は悪いですが、議会関係者からの都合のいい部分？あるいは上手に省略、まとめられた文章になっていると思われま

す。私は議会をすべて傍聴したわけでもなく、ちょっと垣間見ただけの人間です。志布志に移住して来て、この10年間で志布志町議会の時代を含めて今回が5回目の傍聴に過ぎませんが、傍聴席で見られる議会は、この冊子に書かれているより、ずっと面白いときもあります。まったく無意味なやり取りを、冗長に続けていると感じる時もあります。

個人により見方は変わるのでしようから、多くの市民が傍聴席を埋め、議事を監視、観察することが重要になってくるのでは無いでしょうか。

一般質問は議員にとつて晴舞台です。市民もその晴舞台を見に行つてあげましよう。せっかく晴舞台を務めているのに、

観客が一人も居ないなんて、こんな悲しいことはありません。質問者も返答者も観客が多いほど、緊張とやる気に溢れ充実した質疑が交わされるでしょう。

現在、一般質問は60分の時間が与えられています。時計が動くのは議員が質問している時だけです。だから、一人の議員の質問が終了するのに数時間を費やすこともあります。傍聴していて、今の質問に何でこんなに時間が必要なんだろうということが多々あります。たぶん短時間で終わってしまったら、自分の質問に値打ちが無いと思われ、と勘違いされているのか、はたまた値打ちがないことを理解しているから、少しでも箔を付けるために時間を稼いでいるのか、なんて穿った見方をしてしまします。

一方、そつだ！そつこ、もつとじっくり攻めろ!!時間はまだまだあるぞ、と応援したくなることもあります。

議会はドラマです。市民はもつと、生活に関わる生のドラマを見に行こうではありませんか。もちろん、行きたくても行けないという方々がほとんどでしょうから時間のある人は行きましよう、としか言えませんが、一人でも多くの市民が傍聴席に座ることで、議会は活性化すること間違いなしです。何処かの市長のように、傍聴席にマスクミが居るから出席拒否することく、傍聴席に傍聴者が居るから議会では本音を話しません、なんてことは、志布志市議会では無い筈です。傍聴者の存在こそが議会の値打ちであり、市政の活性を生むのだと思います。

市民の出番は始まったばかりです。時間の許す方は議会を監視しに行きましよう。(原文)

## 編集後記

平野 栄作



桜やツツジの花も散り、水田には早期米が青々と風にゆられています。

今年は、例年にない寒波が押し寄せ農作物にも被害を及ぼしました。

また、宮崎で発生した口蹄疫の影響により、市をはじめ多くの自治体で計画されていた催しが中止となるなど影響が多方面へ広がっております。

県内への侵入防止のため、市では防疫にいち早く着手しているところですが、現地では連日感染拡大が報道されており、畜産関係者の皆様には、経済的精神的負担が増して来ていることと思います。

市議会としても、市と連携を図りながらこれらの問題に積極的な取り組みを行なつてまいります。

この市議会だよりがお手元に届くころには、終息という言葉が聞かれることを願い、安堵の表情がみられることを心から期待しております。

### 広報等調査特別委員会

委員長	下平 晴行	玉垣大二郎
副委員長	坂元修一郎	鶴迫 京子
	平野 栄作	藤後 昇一
	西江園 明	毛野 了
	丸山 一	

### 発行責任者

志布志市議会議長 上村 環

インターネットで平成21年までの会議の概要(会議録)を公開しています。市のホームページからご覧ください。  
トップページ>志布志市議会>会議の概要へ